

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	地域の生活環境がよりよく保たれている	
施策名	地球温暖化防止や地域の環境保全に配慮したまちを作る	No.21

年度	平成28年度
責任部長	環境部長
主担当課長	環境保全課長
関係課	計画調整課、営業課、給排水設備課、下水道整備課、浄化課、建築指導課、清掃対策課、農業振興課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値		実績値				目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
日常生活における身近な生活環境に対する満足度(満足度5点満点で評価)	→	3.1	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6
		3.5	3.5	3.5	3.7	3.7		4.0
生活環境に対する苦情件数(件)	→	—	—	—	—	—	—	—
		497	545	487	561	608		451
下水道の普及率(%)	→	—	—	—	—	—	—	—
		59.4	61.1	62.9	65.1	66.2		67.0

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

地球温暖化問題など、環境の現状について正しい認識を持ち、環境保全に関して担うべき役割と環境保全に参加する意義を理解し、それぞれの立場に応じた役割分担の下、自主的、積極的に取組が求められている。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	B 停滞	「生活環境に対する苦情件数」は増加傾向にある。これは規制のない、あるいは規制のかかりにくい雑草や野焼きなどの苦情が増加しているためである。また、「日常生活における身近な生活環境に対する満足度」は悪化することなく維持されている。「下水道の普及」の普及率は年々増加している。
------	----------------	---

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)
快適な環境が悪化することなく維持されている	不快感のある環境が抑制されている	
環境基本計画推進事業	公害防除施設整備資金利子補給事業	
率先行動計画推進事業	環境調査・監視推進事業	
太陽光発電システム設置補助事業	犬猫管理意識高揚事業(ふん害防止)	
家庭用燃料電池の助成事業	環境保全活動推進事業	
各種届出受付時の指導業務	公共下水道整備事業	
工場等の調査指導業務	公共下水道への切替促進事業	
し尿処理施設運転事業	合併処理浄化槽設置補助事業	
	浄化槽維持管理啓発事業	
	公害苦情相談処理事務	
	不快害虫駆除充実事業	
	有害鳥獣駆除事業	
	すずめばち等駆除事業	
評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手前前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。	
評価	長期成果の設定は、地域の生活環境の「維持」と発生源の「抑制」という切り口で捉えており問題ない。近年、市に寄せられる生活環境に関する苦情はここ数年やや増加傾向であるが、その主な要因としては、雑草などの一過性の苦情である。市としては、ここに挙げた事務事業を今後も継続することによって、よりよい生活環境が保たれるものと期待している。	
次年度の改善計画	ここに挙げた事務事業を今後も着実に実施していくことによって、よりよい生活環境が保たれていくものと期待している。	

市民からみた計画の進捗状況 □A □B □C

- ・A判定(改善傾向) 35%
- ・B判定(停滞) 61%
- ・C判定(悪化傾向) 4%

